

公民館だより

ひがしの

No. 39号

5 年 5 月 15 日

発行 東野公民館



光が一段と輝きを増して、さわやかな季節を迎えました。

新年度が始まり大きくみえるランドセルを背負った新一年生の姿が生き生きとして弾んで見えます。

だれもが健やかに育って……
と想っていることでしょう。

入園、入学、就職と多くの人たちが新しい一步を踏み出しました。

山でも木々が一斉に芽をふき始めています。

それぞれどんな花を咲かせ、どんな実を結ぶのでしょうか。

退任のあいさつ

平成五年三月東野公民館運営委員長を辞任させていただくことを決めました。長い間皆様のご支援やご指導をいただき、大過なく重責を果たせましたことは東野住民のご理解の賜物でありました。地域住民の皆様の『生涯学習の場』『コミュニケーションの場』『地域づくりの場』として広く親しまれる公民館づくりに微力を傾注いたしました。住民の皆様が活動が、文化が、情操が、またまた生きがいとなる和の館が、私たちの公民館でした。『想い出せば昭和五十八年から平成五年三月迄皆様と一緒にになって、いろいろと行事に汗を流し、知恵を搾ってまいりましたことを今静かに瞑想する時、あんなこととでよかったのか、と反省しきり赫

顔の至りであります。この間運営審議委員となって私を温かく包んで下さいました各組織の代表者の方々に厚くお礼申し上げます。

社会情勢のめまぐるしい変革の中で、幸い新進気鋭潑刺たる松本広英君を専任公民館長として迎えました。私は若くして僧籍で徳と禅を修得した広英君の活躍の場をこれからも支援したいとお願いいたします。ともすれば、マンネリ化する公民館活動に住民の皆様が新風を吹き込んで、ゆり籠から墓場までの生涯学習の核となる大理想に向かって躍進と発展をひたすら念願いたしております。身は老境化し知能も下降した私の郷土に対する貢献が終わった一つの節目として、その想い出を大切にしたいと思っています。皆様に選ばれた責任

も果たし得ず退任することを、寛容をもってお許しいただきたいと思えます。公民館運営委員の皆様と公民館長が英知を結集して公民館活動の最たるものを理想として精進して下さることを期待しています。不肖の私をここまで愛の手を差しのべて下さいました東野の皆様が満腔の敬意を表し心温まる友情と数多くのご交誼に深く感謝をいたします。

最後にお別れする東野公民館万歳

平成五年三月 山峡の寓居にて

市川 義晴



あいさつ

篠原佳昭

このたび皆様の御推挙により東野公民館運営審議会委員に就任することとなりました。

先任者市川義晴氏は豊かな経験と行動力により公民館運営に多大な功績を残されました。先任者の築かれた実績を少しでも向上させながら高齢社会に対応して生涯学習、生活環境や健康の問題など取り上げてみたい、又昔より東野は他町村と異なり文化意識が高く、団結心の強い所でありました。先輩諸氏が残された生活の知恵や美風、美徳を今一度掘りおこし皆が豊かな心で楽しく生活を営んでいくことが出来るようにしたいものです。

何分にも浅才薄学かつ微力ではございますが職責の遂行に最善の努力をいたす考えでございます。今後皆様方の一層の御指導、御後援を賜りますようお願い申し上げます。御挨拶といたします。

平成4年度 後期

ふれあい活動

9月17日

◎広島での被爆体験談を聞く

新任士官として広島へ赴任して被爆、九死に一生を得た体験談を語っていただきました。

10月9日

◎子供の健康を考える映画と講演会

アトピーの映画と「食物アレルギーと食生活」と題して学校給食センターの松島澄子先生に講演をしていただきました。

11月2、3日

◎三世代

ふれあい文化祭

講座生、学級等の展示やふるさとの食事、俳句大会などを行いました。



11月3日

◎郷土芸能大会

ふるさと歌舞伎、

「白波五人男」

「寺子屋」「忠臣

蔵七段目」を上演、

子供も参加しまし

た。

12月12日

◎わら細工教室

老人クラブの方の指導で子どもと

親が縄とわらじ作りに挑戦しました。



1月22日～2月6日

◎小学生郷土作品点と年賀状展

「郷土、家庭」をテーマに書き初

めなどを展示、併せて一般と子ども

の年賀状展も開催した。

1月16日

◎百人一首大会

三十組ほどに分かれて読み手に合

わせて百人一首大会を開催し、冬休

み中の練習の成果が発揮できました。

3月7日

◎ロバート先生の講演会

「私のみた日本」

と題して、イギリ

ス人ロバート先生

から見た日本、そ

して恵那のことを

堪能な日本語で話

して下さいました。



生涯学習推進学級

◎東野第一生活学級

敬老会のお手伝いに参加し、お年

寄りの方と

童謡を歌い

ました。

他には健康

ヨガ、運動

会バザーな

どを行いま

した。

◎東野第二生活学級

三世代ふれあい文化祭に参加、な

つかしい味、

いもごねもち

を作り、来館

者の方に食べ

ていただきました。

した。



◎東野歌舞伎同好会

11月3日

東野歌舞伎公演

今年度は子ども

やおかさんも参

加して白波五人男、

寺子屋、忠臣蔵七

段目を上演、二月

十一日には恵那伝

統芸能大会に出演しました。

◎おはなし広場

缶笛などの工

作や紙芝居など

を聞きました。

また今年度は子

育て学級と合同

で何回か開催し

ました。



◎東野民謡クラブ

夏まつりで東野

音頭、小唄などを

踊りました。また、

恵那市老人クラブ、

民謡発表会などで

も踊りを披露しま

した。

◎らくしうサークル

心と体と仲間づくりを目標に健康

体操やインディアカなど月二回公民

館二Fを借りて和気あいあい、行う

ことが出来ました。

◎ひまわり会

土方紀子先生から手軽にできる家

庭料理を習いました。また、文化祭

の料理づくりに参加したり、お年寄

りの方の所へボランティアに出かけ

たりして色々と勉強になりました。



社会教育活動団体

◎観酔会

東野文化祭には、陶器、軸、絵画

など古美術品を出展し、交換会など

も行いました。

その他、恵那市文化祭にも参加、中

山道探訪、名古屋市博物館、岐阜市

歴史博物館などに研修に出かけまし

た。

◎大正琴むつみ会

練習した曲を録音して、文化祭の

時に館内に流しました、また、琴風

流発表会にも参加しました。

◎花無山俳句会

毎月、俳句会を開催し、文化祭に

は俳句大会を行いました。

◎囲碁同好会

文化祭と正月に囲碁大会を開催し

ました。

日記を書き続けて六十五年

丸山 生

日記を書き始めたのは今の中学一年の時、昭和四年四月一日からです。書き始めのきっかけを作って下さったのは小学五年から三年間教鞭をとって下さった先生でした。大変気短かで厳しかったです。当時全校で服を着たものは一人もなく男女とも着物を着て居ました。

級の中で一人や二人はわんぱく者が居たものです。女の子のお尻はめくる、昼食後の空辨当箱の中へみみずや蛙等を入れて驚かせたりいじめたものでした。女の子は先生に告げたものでした。各学年に級長男一名、副級長男女各一名が任命されていました。私は級長でした。三人は級内の行動などの善悪に対して責任をもつ

て監視させられたものです。何かいたずらでもあると授業が始まり教室へ先生が来られて三人は呼び出される、先生の前に不動の姿勢、先生は何も言わず男二人の頬へピンと一つつつピンタそして女はなし、そしてサッサッと職員室へ引き上げてしまわれる。誰かのわんぱくらしい。三人は職員室へ行ってお目玉を戴いて平あやまり、三年間にどれだけもらったことか。六年生の卒業の時に先生が四月から日記を書き始めて見よと言われました。

ヨーシやって見せてやろうと分厚いノートを求めて一ページを二日とし線を引き先ず月日、天気、気温、授業の時間割とその日感じた事等を書きました。学校卒業後は一日の出来事や感想等を書き続けました。

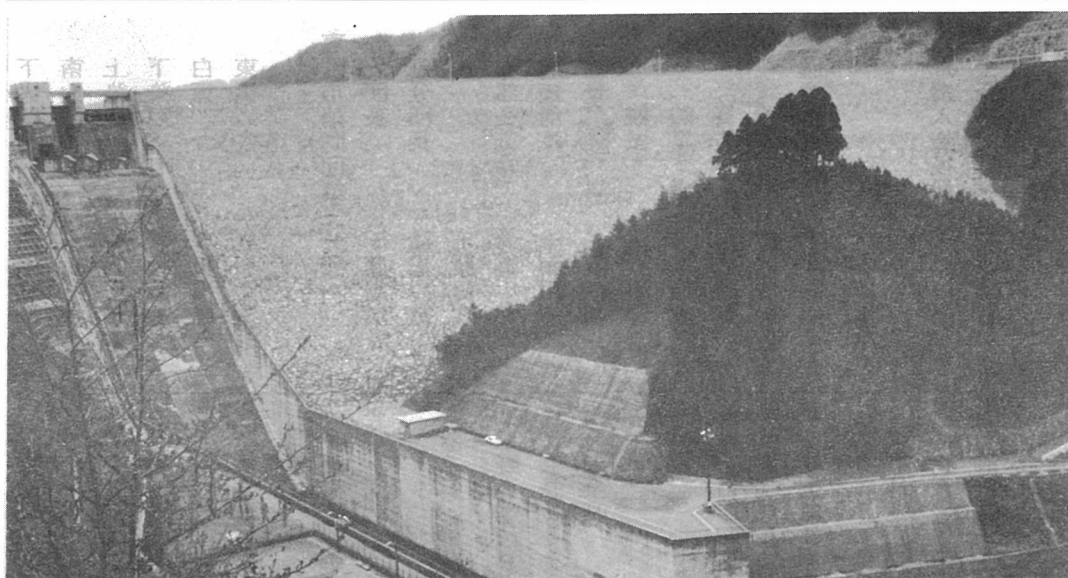
昭和十二年徴兵検査にて甲種合格現役兵として入隊、七月支那事変が始まる、八月二十三日名古屋港より戦艦榛名にて上海呉淞に敵前上陸、同地に同済大学があり教室に小さな寒暖計がありそれを防毒面に入れて昭和十六年帰還するまで一日かかきず天気、気温、その日の行動を書き続けました。その日記も家へ送りましたが全部着いていました。古稀七十才の折思いついて天気と気温のみを年別に書き出して一冊にまとめました。

六十五冊の日記帳が小さな書棚を飾っていてくれます。大切な一面を愚感で埋めてしまつて申し訳ありませんでした。思いのままを

○花満開余生を

日記書きつつく

瑞月



ふるさとの風景

西行伝説の阿弥陀ヶ根

阿木川ダムから恵那の町を望むと目の前に小さな山があります。頂上のうっそうとした檜の間には、恵那の西行伝説に登場する阿弥陀堂と阿弥陀仏が安置されています。

付近には、岐阜県の名水の一つで西行法師が飲んで甘露かな、と言ったと伝えられる杉山の清水や開館にむけて準備が進められている大野吾遺跡資料館、テニスコートなどがあります。家族やグループでのんびりと過ごすのにはよい所です。一度出かけてみてはいかがでしょうか。

平成五年度

各種団体役員名簿

今年度の役員が決まりました。一年間よろしくお願いいたします。

自治会長

自治会名	自治会長
向島	市川卓郎
下沢	鈴木耕司
中島	千藤勝美
南天王前	千藤猛司
北天王前	伊藤公博
小麦田	長谷川勝美
井の下	伊藤昌平
南万場	西尾昌之
北万場	土方康彰
上浜井場	渡辺英夫
下浜井場	吉村茂夫
小の川	三宅敏行
中辻	鈴木克美
下辻	堀江佳徳
南中切	加藤順啓
北中切	与合和武
宮の前	古山信子
上大門	市川雅敏

下大門	西尾文雄	東雲	立石正幸
南大門	小坂 求	白坂	小坂喬峰
上染戸	長谷川泰丈	下染戸	永野稔昌
分団長	千藤重明		
副分団長	藤田 清		
〃	千藤信久		
本部長(総務)	長谷川泰丈		
訓練部長	千藤岳明		
部長(救助)	千藤岳明		
〃(機械)	足立勝彦		
〃(防災)	光岡伸康		
〃(警防)	足立勝彦		
〃(予防)	長谷川泰丈		
操法指導員	千藤岳明		
〃	光岡伸康		
東野婦人会役員			
会長	神谷正枝		
副会長	伊藤綾子		
〃	小栗滋子		

書記
 “
 會計
 “
 子供会育成会
 会長
 理事
 “
 “
 東野小学校P
 会長
 副会長
 “
 書記
 會計
 教養部長
 厚生部長
 東野幼稚園保
 会長
 副会長
 會計

足立晴子
遠藤美志
三宅和子
千藤とし子

伊藤全孝
市川正男
千藤利彦
大谷 修

役員

西尾幸男
三宅孝欣
土方陽子
西尾ひろえ
三宅一彰
渡辺静男
千藤重明

省会役員名簿

伊藤省吾
千藤信久
足立勝彦

東中学校	九支部	支部長	三宅敏行
		副支部長	光岡雅康
		成人教育委員	兼松好道
		厚生委員	伊藤隆司
		校外補導委員	加藤順啓
	十支部	支部長	藤川千行
		副支部長	丸山文憲
		成人教育委員	千藤安雄
		厚生委員	河村久夫
		校外補導委員	藤田政直
東野体育協会役員名簿	会長	足立智胤	
	副会長兼理事長	伊藤光容	
	会計	三宅一彰	
	事務局	河村久夫	
		伊藤忠廣	
東野交通安全協会役員名簿	支部長	永野稔昌	
	副支部長	土方望充	
		鈴木保	

書記 遠藤茂樹

會計 渡辺公彦

監事 足立昌義

婦人部長 市川よしゑ

副部長 光岡貴美子

會長 千藤政治

副會長 西尾甲子雄

伊藤文徳

伊藤昌平

長谷川朝美

増田公野



小栗田

北天清

南入王

中島

不元

向島

自衛

自衛

一平間

合平更

各辭閣村費員各縣

東野歌舞伎保存会



花無山句会

春日向く余生を楽しむ基と俳句
 坪庭の石ふところに緑立つ
 春水の堰越えんとふくれるる
 雪解けを混ざりて川の濁りけり
 ふところ手足そそくさと初句会
 留守多き明治の家に雪残る
 薄氷を素手で遊ぶ見ためらわず
 ねんねこに児を負い弥陀坂小正月
 犬ふぐり蒼き幼の瞳とも
 竹やぶの多き里なり冬ぬくし
 久方に会ふ人懐かし涅槃雪
 菜の花や幾山越えし雲の影
 水温む紅殻格子漂う香

鈴木抱風子
 伊藤公道
 丸山瑞月
 足立いさむ
 市川茶山
 千藤恵三
 伊藤靖代
 伊藤道子
 松本はるか
 市川芳子
 西尾美恵子
 西尾筍子
 長谷川弘子

公民館図書室

新しい本の紹介

・五體字類

高田竹山

漢字の楷書、行書、草書、隸書、
 篆書を古名蹟より採録したもので
 す

・食品エネルギーの早わかり

女子栄養大学出版部

・エネルギーを下げる料理のしかた
 早わかり

・魔女つ子チョッちゃん
 黒柳 朝

・森のパロック
 中沢新一

・スカーレット
 森 瑤子

(風と共に去りぬの続編)

・中国人の恋人
 柴田 翔

・清貧の思想
 中野孝次

・台所のおと
 幸田 文

・卵洗い
 立松和平

募 集

さつき展を開催します。

さつき盆栽を出品して下さる方を下記のとおり募集します。

募集要項

開催期間 6月1日～4日まで

搬入 5月31日 午後1時から

搬出 6月5日 午前9時から

・大切なものですので各自で搬入、搬出をお願いします。

恵那市生涯学習推進学級

豊かな文化、地域づくりを目的として活動する団体に学級運営経費の半額で2万円を限度として補助します。

社会教育活動団体

社会教育、文化活動を行う団体の公民館使用料を免除します。

公民館講座

趣味の園芸、書道、歴史探訪、健康ヨガ、ペン習字の講座生を募集しています。

ふるってご参加下さい。

各々くわしいことは公民館で説明します。

申し込みは東野公民館まで 電話 26-2555

編集雑誌

新しい園児や新入生のすがたを目にしながらさわやかな気分で公民館だよりの表紙の文章をかき始めた。早く発行しなければと思っっているうちに、春風のごとく日にちが過ぎてしまいました。

発行が遅れたことをお詫びすると共に、今年度もまた、いろいろとお世話になりますが、ご理解とご協力をいただきます様よろしくお願いいたします。

